

2020年11月6日

公益社団法人日本補綴歯科学会 第130回記念学術大会

「食力向上による健康寿命の延伸—補綴歯科の力を示す—」

開催方法変更のお知らせ

大会長の水口です。皆様もおそらく気になっているであろう130回の開催形態ですが、来年6月の新型コロナウイルス感染症の状況がいまだ不確定なためWebと小規模集合型を組み合わせた開催形態に変更することといたしましたので、ここにお知らせいたします。なお、感染の状況の変化によっては、再度変更する場合もございます。

大会長：水口俊介（東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野）
準備委員長：金澤 学（東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野）
会 期：令和3年6月18日（金）、19日（土）、20日（日）
会 場：Web+小規模集合型開催（東京医科歯科大学 鈴木章夫記念講堂を予定）

1. 開催方式について

Webを用いたオンラインコンテンツと感染対策に配慮した小規模集合型コンテンツを合わせたハイブリッド開催とする。

Web開催：定時録画配信+ライブディスカッション（事前に録画したプレゼン動画を定時配信し、質疑応答はWeb会議ツールを用いたライブディスカッションとする。）

小規模集合型開催：東京医科歯科大学 鈴木章夫記念講堂（定員500名）において感染対策に配慮しながら集合型開催を行う予定。集合型開催はライブ配信も行う。COVID-19の感染拡大状況を鑑みて、中止もしくはWeb開催への切り替えを行う。

2. Webコンテンツ

シンポジウム企画：定時録画配信+ライブディスカッション

・特別講演・メインシンポジウム・シンポジウム・専門医研修会・理事長講演・第130回記念パネルディスカッションなど

課題講演：発表・質疑応答ともにWeb会議ツールを用いてライブ実施・配信

ポスター発表：Web上のe-Posterとする。質疑応答はWeb掲示板にて行う。

スポンサーセッション：スポンサー主催の企画で、大会プログラムに組み込まれる。

企業展示：Web上でのオンライン企業展示

イブニングセッション：小規模集合型にて開催するもののライブ配信を行う。

一般口演：設定せず

専門医ケースプレゼンテーション：設定せず

3. 小規模集合型開催コンテンツ

イブニングセッション：感染症に配慮しながら小規模集合型にて開催し、ライブ配信を行う。

4. 懇親会

開催せず

130 回大会は 129 回と同様に Web 開催を主といたしますが、一部は小規模集合型の開催といたします。ディスカッション主体となるイブニングセッションを小規模集合型とし、ライブ配信も行います。集合型の会場については、東京医科歯科大学学内（プロソ 14 を実施した鈴木章夫記念講堂）にて感染対策を行いながら 200 名ほどの入場者数で実施する予定です。

Web 開催では Web 会議システムを 3 ライン用い、あらかじめ撮影した講演ビデオの定時配信とライブディスカッションを配信いたします。同時に 3 ライン走りますが、129 回と同様に参加者にはどれか 1 つのラインにしか参加することができません。参加者の一体感の確保を重視し、また経費も考慮し、学会後一定期間の見逃し配信は実施しない予定です。（ビデオは撮影するので実施することは可能ですが、129 回が盛り上がったのもリアルタイム感があり、同僚や後輩と議論しながら見ることができ、これまでになく一体感があつた、ということも今回も重視したいと思います。）一般演題についてはすべて Web 上でのポスター発表とする予定です。

集合型の開催もございますので、参加者の皆様は可能であれば東京にお越しいただき、公式の懇親会は設定できませんが、参加者の皆様同士でお誘い合わせの上、十分感染対策を行った上で、個別に小規模な懇親を行って頂ければと思っています。

会員の皆様の要望に応えられるように、様々な方法を駆使し実りある大会を実施したいと思っておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

公益社団法人 日本補綴歯科学会
理事長 大川周治
第 130 回記念学術大会 大会長 水口俊介